

最優秀親子ら表彰

福島民報社「私と新聞」作文

福島民報社が主催する第八回「私と新聞」親子作文コンクールの表彰式は十七日、福島市の民報ビルで行われた。

親子賞の最優秀賞に選ばれた小学生の部の長谷川慶佑君(七)福島市、福島大付属小一年(四)と母美香さん(四〇)、中学生の部の佐藤さん(四八)、佐藤響さん(三

藤由菜さん(二四)会津若松市、北会津中二年(四)と母陽子さん(四八)、

優秀賞の親子四組のうち小学生の部の馬場理奈さん(三)会津若松市、鶴城小六年(二)と母

理恵さん(四二)、中学生の部の橋本みなみさん(二四)三春町、三春中二年(二)の母由香里さん(四八)、佐藤響さん(三

会津若松市、若松三中一年(二)と父繁さん(四八)が出席した。

福島民報社の安田信二地域交流室長が「作文の内容を新聞作りに役立てたい。新聞を毎

朝楽しみに待つ人がいるということを改めて心に刻んだ」とあいさつし、一人一人に表彰状と記念品を手渡した。審査員を務めた県教育庁県北教育事務所

読む 知る 学ぶ E! 新聞

の嶋原俊洋学校教育課指導主事は「新聞には情報や知識を得るだけでなく、思考力や想像力、学力の向上や心の成長、絆を深めるといった数多くの役割があると気付かされた」な



どと講評を述べた。コンクールは家庭や学校で新聞に親しんでもらう「読む 知る 学ぶ『E!新聞』プロジェクト」の一環として、県、県教委の後援で行った。親子合わせて六百八十五点の応募があった。(受賞者名は5日付に掲載。29面に受賞作品紹介)

表彰式に臨んだ(前列左から)長谷川美香さんと慶佑君、佐藤由菜さんと陽子さん(後列左から)馬場理恵さんと理奈さん、佐藤響さんと繁さん、橋本由香里さん

と母美香さん(四〇)、中学生の部の佐藤さん(四八)、佐藤響さん(三